

**平成 23 年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への
地震動および津波の影響に関する安全性評価の実施状況について
(原子力安全・保安院への報告)**

2012 年 1 月 17 日

当社は、平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえて出された原子力安全・保安院からの指示※1に基づき、2011年11月18日に「浜岡原子力発電所の平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動および津波の影響に関する安全性評価実施計画書」(以下、「実施計画書」という。)を提出しました。

(2011年11月18日お知らせ済み)

本日、本指示に基づく地震動および津波に関する評価の実施状況について、原子力安全・保安院へ報告しましたので、お知らせします。

実施状況

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(第7回:2011年12月27日)の中間取りまとめにおいて、想定震源域・想定津波波源域と地震の規模(暫定値)が提示されましたが、地震動評価および津波評価を行うための断層パラメータ等(地震の規模、破壊開始点、アスペリティの位置、断層すべり量、津波地震の発生場所やそのすべり量等)については、2012年3月~4月を目途に最終取りまとめを行うこととされています。

当社では、引き続き、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」による断層パラメータ等の検討状況を注視して検討を進め、地震動および津波の浜岡原子力発電所への影響に関する評価がまとも次第、結果を報告いたします。

項目	進捗(2011年度)
(1)津波	▼ 2011 年 11 月 11 日 指示文書※1受領
	▼ 2011 年 11 月 18 日 実施計画書提出
(2)地震動	▼ 2011 年 12 月 27 日 内閣府「南海トラフ巨大地震モデル検討会」 中間取りまとめ
	評価 ▼2012 年 1 月報告※2
	評価 ▼2012 年 1 月報告※2

※1 原子力安全・保安院の指示:2011 年 11 月 11 日に原子力安全・保安院により発出された「平成 23 年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について(指示)」(平成 23・11・02 原院第 4 号)

※2 以降の実施状況については2ヶ月を超えない範囲で報告予定です。2012 年春に予定されている文部科学省地震調査研究推進本部による南海トラフの地震の長期評価の検討およびそれを反映した内閣府中央防災会議における検討を適宜反映する予定です。

以上